

## 教育民生委員会記録

開会年月日	平成30年1月16日
開会時刻	午前9時56分
閉会時刻	午前10時22分
出席委員名	◎中山裕司    ○福井輝夫    宮崎 誠    久保 真
	楠木宏彦    辻 孝記    品川幸久    藤原清史
	浜口和久
	西山 則夫 議長
欠席委員名	—
署名者	宮崎 誠    久保 真
担当書記	野村 格也
審査案件	伊勢市病院事業に関する事項 継続調査案件 ・ 市立伊勢総合病院新改革プランの平成28年度 評価結果について ・ 平成29年度経営状況について ・ 地域包括ケア病棟の設置について
説明員	病院経営推進部長、病院経営推進部次長、病院総務課長、 経営企画課長、医療事務課長
	ほか関係参与

## 審査経過

午前9時56分、中山委員長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に宮崎委員、久保委員を指名。継続調査案件となっている「伊勢市病院事業に関する事項」を議題とし、当局の報告、報告への質疑を行い、「伊勢市病院事業に関する事項」については継続調査とすることを決定し、委員会を閉会した。

開会 午前9時56分

### ◎中山裕司委員長

それでは、ただいまから教育民生委員会を開会をいたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立をいたしております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は委員長において、宮崎委員、久保委員の御兩名を指名いたします。

本日の案件は、継続調査となっております、「伊勢市病院事業に関する事項」であります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### ◎中山裕司委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

## **【伊勢市病院事業に関する事項】**

### **【市立伊勢総合病院新改革プランの平成28年度評価結果について】**

### ◎中山裕司委員長

それでは、「伊勢市病院事業に関する事項」についての御審査を願います。

「市立伊勢総合病院新改革プランの平成28年度評価結果について」当局から説明をお願いいたします。

病院総務課長。

### ●奥田病院総務課長

それでは、「市立伊勢総合病院新改革プランの平成28年度評価結果について」御説明を申し上げます。

資料1を御覧ください。総務省から示されました「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、昨年3月に策定し、議会で御協議いただきました「市立伊勢総合病院新改革プラン」の平成28年度の評価結果につきまして、その概要を御報告させていただきます。

はじめに、1の「新改革プラン評価委員会の開催について」でございますが、委員会は、昨年12月20日に開催し、伊勢地区医師会の永井会長をはじめとする有識者8名の方をお願いし、記載の6名の委員にご出席を頂いております。

次に、2の「新改革プラン平成28年度実施結果等について」2ページ以降の資料に基

づきまして、「(1) 市立伊勢総合病院新改革プランについて」、「(2) 平成 28 年度の決算について」、「(3) 新改革プランのアクションプラン取り組み結果について」の 3 項目について、御報告をいたしました。

次に、2 ページを御覧ください。Ⅰの「市立伊勢総合病院新改革プランについて」でございますが、1 に新改革プランを作成するにあたっての経緯を、2 に新改革プラン策定の考え方を、3 に現状の問題点を、4 及び 5 に数値目標とその目標を向上させるための課題を、6 に評価の活用についての 6 項目について、御説明いたしました。

次に、3 ページを御覧ください。Ⅱの「平成 28 年度の決算について」でございますが、病院の運営に伴う収益的収支におきまして、経常利益は、4,900 万円となっておりますが、これは、基準外の繰入 5 億 3,000 万円を含んでの経常利益であることから、更なる経営改善が必要であることなどの報告をさせていただいております。

次に、Ⅲの「新改革プランのアクションプラン取り組み結果について」では、1 に「医療体制の機能確保について」、2 に「人材の確保・育成について」、3 に「経営改善について」、4 に「新病院建設計画について」、5 に「再編ネットワーク化・経営形態の見直しについて」の御説明をいたしました。

1 の「医療体制の機能確保について」では、3 ページの表にございますように、取り組みの結果といたしましては、中ほどの伊勢市乳がん検診実施者数を除いた項目につきましては、おおむね目標を達成することができております。今後につきましては、病床利用率を高めるとともに、地域の医療機関と連携した診療を行える体制を構築し、適切に情報提供も行ってまいりたいと考えております。

次に、4 ページのほうを御覧ください。2 の「人材の確保・育成について」では、奨学金等も活用し、医師や看護師などの医療スタッフ等の確保に取り組んできた結果といたしまして、表に記載のとおり、実績では 1 行目の「3 年目医師採用」が 1 人、2 行目の「研修医マッチング数」が 2 人となっております。また、「人材の確保」につきましては、目標値を下回っている項目もございますが、見学者数が増加しているなど、今後についての好感度も得られているところでございます。

次に、「3. 経営改善について」でございますが、5 ページの表を御覧ください。表に記載のとおり、目標値に対する実績につきましては、おおむね達成している状況でございます。

次に、6 ページをお願いいたします。「4. 新病院建設計画について」では、地域の中核的役割を担える、災害時にも継続して医療が提供できる新病院の整備を進めていること、「5. 再編ネットワーク化・経営形態の見直しについて」では、共同購入や人的交流による地域内の連携について、調査を実施したところでございます。

7 ページから 11 ページの資料 1-2 につきましては、新改革プランの 5 か年計画に、平成 28 年度の実績数値を記載したものを添付しておりますので、後ほど御高覧賜りたいと存じます。

次に、1 ページにお戻りください。3 の「主なご意見等について」でございます。

実施結果などの報告につきまして、いただいた主な御意見でございますが、まず、従来からの課題である医師確保につきましては、新病院は絶好の機会であり、循環器科等の充実のほか、こう原病など伊勢志摩地区に少ない専門的な診療も意欲的に取り組んでもら

いたいとの御意見をいただいております。

次に、医療機関等との更なる連携の依頼につきましては、伊勢志摩地域には、地域医療支援病院が複数あり、同様の講習会が多数開催されているため、合同で実施するなど、効率的に実施してもらいたいとの御意見をいただきました。

次に、地域包括ケア病棟や在宅医療についての当院の考え方につきましては、在宅医療は医師会や保健所、市などと連携が必要であり、当院の在宅医療との連携は、地域包括ケア病棟を開設していくことにより、地域における役割を担っていききたいとの回答をさせていただいております。

次に、健診者数の数値目標の達成につきましては、乳がん健診者数などの数値目標の達成のためにも、やはり医師確保が必要であるとの御意見をいただいております。

なお、委員会の最後に永井委員長から、伊勢総合病院は今回の意見などをふまえて、公立病院として、地域における役割を担っていただきたいとの意見が付されております。

以上、新改革プランの平成 28 年度評価結果につきまして、御説明をいたしました。

よろしく御協議賜りますようお願い申し上げます。

◎中山裕司委員長

ただいまの説明に対しまして、御発言はございませんか。

◎中山裕司委員長

品川委員。

○品川幸久委員

御説明ありがとうございます。

まず最初に新改革プランの評価委員さんなんですけど、結構、伊勢市の方がほとんどですね、やはりあの三重大とかはですね、ああいう、前はそちらの方も入っておったと思うんですけど、できれば県外からの有識者とか、そういうところの目で評価をしていただくということが大事ではないのかなと思うんですけど、その点はいかがでしょう。

◎中山裕司委員長

病院総務課長。

●奥田病院総務課長

今回のですね、委員の選出にあたりましては、附属機関条例の規定によりまして、学識経験者でありますとか、医療または病院の経営に関する知識の経験を有する方などからですね、病院の中で協議をいたしまして、決定をいたしました。

委員御指摘のとおり、毎年、改革プランの評価に当たりましては、点検であるとか、評価でありますとかを実施させていただきますので、また、委員の選出につきましては、検討させていただきたいというふうに思っております。

◎中山裕司委員長  
品川委員。

○品川幸久委員

ありがとうございます。

それですね、決算のことについて述べられとるのは、当然うちの決算で出たことが書いてあってそれは了としたんですけど、黒字は少しあったけど、基準外であったから、実は黒字やないんよというようなことが書かれておるんで、それは、評価委員の方にもわかっていただいたと思っておりますが、これから、この9月に病院が新しくできてですね、来年1月っていうようなところで、1年据え置いてですね、やっぱりお金を返していかないかんと。最初の部分に機器の部分返すんに、毎年5億円以上のお金を出してかないかんと。これは当然、この間大学の先生の講習会でもあったんですけど、やっぱり2億円は稼いでもらわんとですね、やっぱり企業会計であるんで、実際今回の約総額200億円ぐらいかかった病院ですね、4分の1が市の出資金としてもですね、残りの4分の3は起債を充てていくということになるんですけど、病院債が非常に厳しいんで、まるっと100億円以上、市単になってくる可能性がある。当然病院のもうけたお金で返していただければありがたいんですけど、現在、昨年でもやっぱり繰入基準外と基準内入れて11億8,000万円から繰り入れとる中でですね、そんなに、大きな利益を求められないという部分があってですね、そこら辺は非常に心配をしております。それを返していくにはやはり、もう何回もいろんな議員も質問をしておったんですけど、医師の確保ということになるろうかと思っております。

財政収支計画、前のときに質問があつてですね、もう1年目から足らんやないかというおしかりもあつたと思うんですけど、やはり医師の確保が1人1億円は稼いでくれるという先生がですね、脳外が2人、循環器が2人と言いながら、約6人の医者を何とかして確保せんと難しいんじゃないかっていう中で、もうあと1年足らず、1年も切ってますんですけど、新しい病院ができると。私らでも望みはやっぱり新病院までに医師の確保がついていうようなところが、非常に大事なことになるろうかと思うんですけど、その点はどのように進んでおるのか、希望があるのか。ないならないで、これから頑張るということになるろうかと思うんですけど、そこら辺が全く見えない中でですね、財政収支計画が、やはり医師を確保した金額でずっと進んでおるシミュレーションがついていうところは、ちょっと疑義があるんじゃないかなと思うんですけど、いかがでしょうか。

◎中山裕司委員長  
経営企画課長。

●佐々木経営企画課長

委員御指摘のように、医師確保が随分経営のほうの影響を与えるということで、十分認識をしているところでございます。医師確保につきましては、今、市長も、三重大学を始め他の大学、そちらのほうにも一緒のように足を運んでおりまして、新病院の開院までには、何とか必要としている診療科の医師を確保していっていきたいというふうに考えて

おります。三重大それから他の大学、その辺の状況ですが、人事のこともありますので、具体的には申すことはできませんけども、なんとか新病院開院までには確保していきたいというふうに取り組んでおりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

◎中山裕司委員長  
品川委員。

○品川幸久委員

言いにくい部分もあろうかと思うんで、そこまでは物言いませんけど、ただこの最初のときにね、脳外科2人、循環器2人というようなことですべてで6人ということですね、そこら辺が実際できるかできんかによってね、やっぱり病院の方向もしっかりと見定めていく必要があるのかなと。

ここに新公立改革プランの資料をつけていただいているんですけど、最初の(1)のところ、「地域医療の構想を踏まえた当該病院の果たす役割」というようなところで、やはりあの人口減少というところが、しっかりと書かれておる。最初の10年間で約2万7,000人が減って行ってですね、その後5年ごとに1万3,000人から減っていくので、患者数も減っていくのではないかっていうふうなこともしっかりと書かれておるんでね、やはりそこら辺もしっかりにらんで経営を立ててかんとですね、病院建ててそのときは人がようけ来るかもわからんですけど、将来的にお金を返してかなあかんということも思っておるので、やはりしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

もう今日はこれぐらいの報告なんで、もうこの程度でやめときますけど、ただもうひとつ、1点だけ聞かしていただきたいのが、この間の台風のとくに災害がありましたよね。あのときに、私も聞いた話なんですけどね、日赤さんのほうに救急車が5台も6台もいったんだけど、水で入れなくて帰ってしまったと。おたくらの説明の中にも、災害時のための病院体制っていうことがあったんで、そのときに伊勢病院が受け入れられる体制をとっておったんかどうかっていうところも、ちょっと地域の医療としてならばですね、いうことわかりますかね。ちょうど日赤さんが全部水を浸かってしまって、救急車が入れなかったと、そんでみんなバックして帰ってったんですけど、そんなとき実は伊勢病院が救急を受ける体制がとれとったんかかっていうところが、もし災害時ということと言われるのであれば非常に大事なことかなっていう部分で、ちょっとそこら辺だけ教えていただきたいかなと。

◎中山裕司委員長  
経営推進部長。

●佐々木経営推進部長

10月の豪雨の関係のお問い合わせかと思います。まずあの申しわけないですが、私どものほうとして、ちょうどお休みの日でしたので、医療体制が朝からそのようなことが予測されれば当然そういったこともございましたでしょうが、正直な話とれておれなかったというのが状況でございます。また、お聞きしておるところでは、消防からも日

赤さんからもですね、そのようなお話は具体的にはなかったということでございます。ただ、おっしゃるように今後新病院になった際には、災害に強い病院というのが新しい病院のひとつのテーマになっておりますので、そのあたりもしっかりと取り組んでまいりたいというふうに考えております。

◎中山裕司委員長  
品川委員。

○品川幸久委員

やっぱり地域連携ですのでね、やっぱりそこらへんところはちょっと目を光らせてですね、そういう日赤に入れれないという状況があったらすぐに伊勢病院で受け入れられるような、そんな体制もつくっていただきたいなど、そのように思って終わっておきます。

◎中山裕司委員長  
他に御発言ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、報告に対しての質問を終わります。

続いて委員間の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので自由討議を終わります。

以上で「市立伊勢総合病院新改革プランの平成28年度評価結果について」は終わります。

## 【伊勢市病院事業に関する事項】

### 【平成29年度経営状況について】

◎中山裕司委員長

次に、「平成29年度経営状況について」、当局から説明をお願いいたします。  
経営企画課長。

●佐々木経営企画課長

それでは、「平成29年度経営状況について」御説明申し上げます。

資料2を御覧いただきたいと思っております。11月末現在の医業収支と患者数の状況となっております。

まず「1 医業収益」ですが、平成28年度と比較しますと、1億4,000万円の増加となっておりますが、財政収支計画との比較では、1億9,500万円の減少となっております。

次に「2 医業費用」ですが、平成28年度と比較いたしますと、2,400万円の減少となっております。財政収支計画との比較におきましても、1億7,800万円の減少となっ

ております。

次に「3 利用状況」でございますが、入院、外来患者数の状況となっております。平成 28 年度と比較いたしますと、入院患者におきましては、1 日平均 6.8 人の増加、外来患者は 1 日平均 5.9 人の増加となっておりますが、財政収支計画との比較では、入院患者は 1 日平均 18.6 人の減少で、外来患者は 1 日平均 5.8 人の増加となっております。

一番下段の※の表ですが、入院患者数の病棟ごとの内訳となっております。昨年度と比較いたしますと、一般病棟はほぼ横ばい、療養、回復期病棟は増加となっております。

今回の御報告は、11 月末現在の状況でありまして、それ以降にしか発生しない医業費用、例えば「12 月賞与」、「退職給付引当金」、「賞与引当金」などの多額な支出がございますので、医業収支はマイナスとなる見込みでございます。今後も医業収益を確保しまして、マイナス幅をできるだけ小さくできるよう努めてまいりたいと考えておりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

以上、経営状況について御説明いたしました。よろしく御協議賜りますようお願いいたします。

◎中山裕司委員長

ただいまの説明に対しまして御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、報告に対しての質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行います。御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、自由討議を終わります。

以上で「平成29年度経営状況について」は終わります。

## **【伊勢市病院事業に関する事項】**

### **【地域包括ケア病棟の設置について】**

◎中山裕司委員長

次に、「地域包括ケア病棟の設置について」を当局から説明を願います。

医療事務課長。

●山口医療事務課長

それでは、「地域包括ケア病棟の設置について」御説明申し上げます。

地域包括ケア病棟の設置につきましては、新病院開院に向け新たな病棟として編成するため、現段階の病院から開設の準備を進め、新病院への移行後においても病棟運営をスムーズにしていこうというもので、その概要を御説明いたします。

それでは、資料 3 を御覧ください。

1の「地域包括ケアシステムと地域包括ケア病棟」につきましては、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目処に、住まい・予防・医療・介護・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムが構築され、円滑に運営されるために、地域包括ケア病棟は、医療・介護の連携をもとに、在宅療養における緊急時、回復期、在宅復帰の支援を目的としております。地域包括ケア病棟の役割としましては、急性期からの受け入れや、在宅・生活復帰支援、緊急時の受け入れなどがございます。

2の「地域包括ケア病棟の開設」につきましては、当院は健康増進・予防、医療・ケア、介護・福祉における市の施策を、他の関係機関と継ぎ目なく連携・推進していくことを任務として掲げております。また、伊勢志摩地区の地域医療構想におきましても、「①一定程度の急性期医療」、「②回復期リハビリテーションの充実」、「③在宅医療における緊急時の受け入れ」を求められていることより、地域包括ケア病棟を設置し、地域包括ケアシステムの構築・円滑な運営に寄与することは、病院機能の任務や地域ニーズにかなっており、極めて重要であると考えております。

3の「対象」の患者様につきましては、「(1)急性期からの受け入れ」としまして、急性期治療を経過して在宅復帰に向け、もう少し経過観察、体力回復が必要な方や、症状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーション等が必要な方でございます。「(2)在宅復帰支援」としまして、在宅や福祉施設での療養に向けて準備が必要な方でございます。「(3)緊急時の受け入れ」としまして、在宅や福祉施設で療養中に、発熱や下痢等の症状により入院医療が必要となった方でございます。4の「開設時期」につきましては、平成30年度中を、5の「病床数」につきましては、約40床を予定しております。

以上、「地域包括ケア病棟の設置について」御説明いたしました。どうぞよろしく願いいたします。

◎中山裕司委員長

ただいまの当局側の説明に対しまして御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、報告に対しましての質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようでございますので、自由討議を終わります。

以上で「地域包括ケア病棟の設置について」を終わります。

「伊勢市病院事業に関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくことで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御異議なしと認めます。

本件につきましては、引き続き調査を継続いたしてまいります。

以上で、御審査いただきます案件は終わりましたので、これをもちまして教育民生委員

会を閉会いたします。

閉会 午前10時22分

上記署名する。

平成30年 1 月 16日

委 員 長

委 員

委 員